

飯田市新型コロナウイルス感染症対策
第5回 専門家会議 議事録(概要)

令和3年2月 12 日(金)13:00～14:00
於:飯田市役所 2階 市長公室

市長あいさつ

本日は大変お忙しいところ、飯田市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議にお集まりいただき、ありがとうございます。また、先日臨時議会で可決いただきました第7弾の緊急対策事業をまとめるにあたり、短時間に照会という形で意見を頂戴いたしました。このことについても御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

2月3日に、この地域の感染警戒レベルが5から3に引き下げられたわけですが、おかげさまでそれ以降、この地域で新規の陽性者は確認されていない状況です。関係者の皆様、市民の皆様の感染拡大防止へのご協力に本当に感謝を申し上げたいと思います。また、昨日(2月 11 日)は長野県内全体の新規陽性者が0人であったということで、県内全体も感染が収まってきたという状況で、この地域の感染警戒レベルが3から2に引き下げられることも視野に入ってきたかなと受け止めています。

そうした中、先だって可決いただきました補正予算に含まれている事業の一つとして、プレミアム割引クーポン券があります。これは第1弾が飲食業の皆さんを応援するためにテイクアウト・出前で使用可能、第2弾は飲食店を含むすべての業種の皆さんに感染警戒レベルが2に下がった時から3か月間使用可能な2種類のプレミアム割引クーポン券を市民の皆様に配布するものです。

感染警戒レベル2が視野に入る中、このプレミアム割引クーポン券における地域経済の再生と、引き続きこの地域の感染拡大を防ぐことを両立させるという非常に難しい課題にこれから取り組んでいかなければいけない状況です。これまでとはとにかく感染を抑え込むことでしたが、これからは感染拡大を抑えつつ経済を再生するという、かなり難しい場面になると思いますので、感染拡大を起こさないためにはどういったところが勘所になるか専門的な知見からご意見をいただき、市民の皆様への呼びかけなどに活かしていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

協議(以下、市長は座長となります)

(座長)

市民の皆様にプレミアム割引クーポン券を送付する際の資料案をお手元に配布しておりますが、市民の皆様にお伝えする注意事項を、

〈テイクアウトや飲食店を利用する際に心がけること〉

- ・お店に行くとき、飲食時以外は必ずマスクを着用しましょう。
- ・食事の前は手洗いや手指の消毒を行きましょう。
- ・できるだけいつも一緒の人(家族や職場など)と少人数で楽しみましょう。
- ・大人数や長時間に及ぶ飲食は控えましょう。

としているわけですが、これで十分か、また表現は良いか等について専門的な知見からご意見を頂戴できればと思います。

(委員)

良いと思います。

(委員)

ここに書かれている内容はこれで良いと思いますが、視点を変えていただきたい。

他地域と比較すると飯田での感染者数はクリスマス前までは少数でしたが、クリスマス以降に急増し、少しの発生源から拡大し、障がい者施設でも感染が起きました。このことに私は非常に強い衝撃を受けました。

経済については、域内をウイルスフリーな状態にすれば、域内完結型の経済は回せると思います。表現は悪いかもかもしれませんが、年末年始には流行地から不用意にウイルスが持ち込まれ広がったかと思います。ウイルスフリーにするためには、多くの方々が意識を持って協力してくれないとできないと思います。この圏域にウイルスを持ち込まない、持ち帰らない。この水際対策をしっかりと行い、その状況を継続維持できれば、域内完結型の経済は十分に回せるし、この圏域の方々は胸を張ってお店に出入りできると思います。そのために持ち込まない、持ち帰らないという水際対策の部分で、心を一つにさせていただきたい。そのようなメッセージを市民の方々へ伝えていただけたらありがたいと思います。

(委員)

おっしゃる通りだと思います。ただ、他地域と行き来しないということは非常に難しいので、行き来した人は検査を受けることが大切だと思います。先ほどの話にあった少数の発生源は他地域と行き来したあとに検査を受けていない人だったということ、一方で自主検査を受けていただいた方から陽性者が見つかり、いち早く感染拡大を防げたこともありましたので、抗原検査等で早期発見に努めることが引き続き大切なことかなと思います。

(委員)

書かれている内容は良いかと思います。また、手洗いなどの感染予防の基本をしていただければ、感染を防ぐことができる、また広げないことになります。万が一、かかっている人も、自分で広げないためにマスク着用や手洗いなどの注意につながると思うので、感染予防の基本がこの内容に集約されていると思います。

(委員)

感染警戒レベルが下がれば外出しようかなと考える人が増えてくるかと思います。その状況の中で、先ほど話にあったウイルスフリーをどう実現するか。特にどのように市民に伝えるかということを考えていけないと思います。この地域のお店が安心であることをどうアピールするかだと思います。時短・休業のお願いの時には市長もお店に訪問していましたが、今度はお店や民間の施設で感染予防対策をしっかりと行っているか、チェックすることも必要かだと思います。県も「信州安全のお店」という形で情報発信することを考えているようです。感染警戒レベルが下がったといって安心ばかりしないよう、引き続き、感染を予防するための取り組みを飯田市独自で始めた方が良くかと思います。プレミアム割引クーポン券の機会に安心して食事や会合ができることも強くアピールすると良いかと感じます。

(委員)

プレミアム割引クーポン券ですが、高齢者などが読んですぐに内容が理解できるか懸念されます。若干複雑かだと思います。また、テイクアウト割引券は出前も使えるとのことですが、加盟店一覧には出前を提供してくれるお店も掲載されるということでよろしいですか。また、出前を行う加盟店の中にはタクシー会社と連携して配達されるお店もあるかと思いますが、両者の連携について何か把握されていますか。

(遠山産業経済部長)

加盟店募集を行う中で、テイクアウトまたは出前を行っていることと記載していますので、出前も対象になります。加盟店とタクシー会社の連携は、こちらでは把握していません。

(委員)

すぐに感染警戒レベルが2になれば、「テイクアウト割引券」と「ささえあい割引券」の利用期間が同時にスタートとなる可能性もあるので、混乱が起きないようにしないといけないと思います。

(委員)

先ほど、コロナウイルスは他地域から持ち込まれているとあったが、飯田市は事業者などに水際対策の周知をどのようにしているのか。また事業者は足並みをそろえて対策を行っているのかお聞きしたい。

(遠山産業経済部長)

国から業種ごとにガイドラインが示されており、各団体へ対策が呼びかけられています。各事業者さんもガイドラインに基づいて対策をしていただいています。また、県や市も新しい生活様式への対応ということで感染防止対策をしていただいた所には支援金をお渡ししています。

(委員)

例えば、出張に行って帰ってきた時の検査については周知していますか。

(遠山産業経済部長)

事業者の方には、検査を行ってほしいと伝えていますが、検査費用の助成などは行っていません。

(委員)

今回の事案を教訓に、検査の推奨など水際対策の強化を考えるべきかと思います。

(委員)

飯田市が検査費用をどれだけ執行しているかという数字は出せると思うので、そうした数字も公表すれば良いかと思います。

(委員)

国の言うことを行うだけでなく、今のお話のように水際対策として飯田市が具体的にしていることを数字で示してもらえれば、事業者さんもこれだけ協力してくれているということがわかりやすく伝わると思います。

(委員)

今のお話に共感です。1日の検査件数がこの圏域はすごいということを今日話していました。圏域の人口は15万6千人、今まであった1日の最大検査数が269件。これを東京都の人口を1,400万人として人口比で考えると東京都だと2万4千件になると。実際、東京では1日1万件ほどしかこなせないが、飯田圏域はここまでやっている。これはすごいことだと思います。

また、感染流行地に行かなければいけない企業の方もいる。そうした企業に検査を受けてくださいと依頼をすれば、今まで以上にしっかり感染予防策をしなければならぬと感じるのではないのでしょうか。先ほどのお店へのチェック訪問と同じで、しっかりやらなければという気持ちが強まると思います。お願いの仕方は大切だと思いますが、早めの検査で見つけることができれば感染拡大を予防することができる、皆さんのお話を聞いて感じました。

(座長)

先ほどの検査数を東京都に換算するお話は、先日の市長メッセージでお伝えしましたが、大変反響がありました。安心したという話がありました。

感染予防対策については、水際対策として、圏域をまたいで移動される企業の方へのお願いについては、各業界でも徹底されているところですが、検査を受ける頻度などを検討したうえで飯田市からメッセージを出したいと思います。内容についてまたご相談させてください。

緊急対策事業については、感染予防対策の徹底、出張などのあとに検査をお願いする水際対策を企業の皆さんにお願いしたいと思います。また、伝え方も工夫したいと思います。

続いて、今後の取り組みの方向性と考慮すべき点についてということで意見ををお願いします。

(委員)

今回のコロナ禍の中で、飯田市は誹謗中傷対策としてシトラスリボン作りを早くに取組んでいただきましたので近隣の町村にも波及効果をあげてきているとうれしく受け止めています。中学校も積極的にこの活動に参加していただいているということもうれしいことだと思っています。感染症の歴史を紐解いたときに、感染症と人権問題は切り離せない問題を孕んでおります。ワクチン接種によってこのコロナを乗り越えていきたいなと思っていますが、誰にでもかかる可能性がある中で、どう対策をしていくかを大事にしたいと思っています。このコロナを通じて公民館活動の中で人権講座の要望も出始めています。この体験を通じて市民の人権意識を醸成するチャンスと感じている。住民レベルの人権意識の醸成を、公民館活動の中で積極的に進めていただくとうれしく思います。

(座長)

他にはよろしいでしょうか。ありがとうございました。今日いただいた意見を基に、また近くに市の対策本部会議を開きまして、広報の在り方などについては整理させていただきたいと思います。本当にお忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。